

支部だより

令和4年 夏季合同稽古

39-01



39-02

ご挨拶

一年ぶりの会報の発行となりました。このところ、会報の編集作業に十分に時間が割けず、年二回の予定が年一回の発行にとどまっております。楽しみにして頂いている方には大変申し訳ない限りです。発行回数が減ると、卒業時期が近付いた方たちの文章をまとめて掲載することとなり、今回は大増刷版の発行となりました。

近年、大道塾の創設者である東孝(あずまたかし)前塾長の逝去に伴い、団体の体制が大きく変化しました。以前は良くも悪くも、塾長の「鶴の一声」ですべてが決定していましたが、現在は指揮系統の混乱もあり、伝達が不十分であったり、物事がうまくまとめられなかったりと問題点も多くあります。それがそれぞれの役割が分担されることで、改善された点も多くみられます。大会の開催が多くなり、初出場の方でも出場がしやすい環境が整備されてきたことなどはとても評価できる点だと思います。

ここ数年、支部からの大会出場者は、比較的良い成績を残すことができるようになってきておりますが、我が道場としては、大会への出場を皆様に積極的に進めているわけではありません。大会に挑戦するものがあれば、審査受験に向けて取り組むもの、また日々の稽古自体に重きを置き、一日一日の稽古を大切にしたり、健康に留意しながら稽古の

継続性を目指したり、個々人の目標はそれぞれ異なっていて当たり前です。大会で活躍する選手の方々と一緒に稽古をすることで、他の稽古生の実力向上にもつながっており、それぞれの目標を各自がしっかりと定め、稽古に取り組んでいただきたいと考えています。

私は武道団体としての本道の在り方を目指して稽古指導をしています。競技に特化しすぎると、試合の勝ち負けのみが優先され、子供たちの頭の中には、勝ち負けの価値観しか根付きません。一方で基礎教育や精神教育はかりでは、頭の固い、頭でかちの団体となり、稽古生は本来身に着けるべき本物の力を身につけることはできなくなります。

今回も、多くの子供たちに文章を作成して頂いておりますが、書いていただいた文面の内容から、安心できる成長が伝わり、とてもうれしく感じています。子供たちの中には、まだまだ文章の拙い子もいますが、その子の成長に見合った文章が書ければそれで充分です。審査に臨むものは昇級や昇段に、競技をするものは勝ちを掴み取るために必死になるのは当たり前ですが、指導者としては、さらにその先の、人としての成長を望んでいます。

稽古生も指導者も、そして保護者の方々も共に成長できる場になることを願っています。

支部長 森直樹

目次:

ご挨拶	1
行事報告	2~4
キッズ&ジュニア 少年部塾生だより	5~9
写真(活動の様子)	10
こどもコーナー	11
キッズ&ジュニア 優良出席者	12
栄養コラム	13
中学部昇段レポート 中学部塾生だより	14~16
活動状況	17
一般部 塾生だより 大会・強化合宿レポ	18~22
一般部昇段レポート	23
写真(稽古納め)	24
継続の礎	25~26
全国大会への挑戦	26
お知らせ	27
編集後記・コラム	28

寄稿者

「塾生便り」(少年部)

毛利穂乃果 原田 尊 山崎菖乃
船木隆雅 大山 倫 山岡流依
門脇陽翔 鈴木勝貴 野坂愛斗
橋本雄太 中野遙花

「昇段レポ・塾生だより」(中学部)

田村洋貴 山口晴太郎
早瀬敬汰 ポポフ・ビクター

「塾生便り」(一般部)

杉澤政測 和田かるる

「大会・強化合宿レポート」

栗山 耀 野中はる
小林俊也 須坂烈斗

「昇段レポート」(一般部)

山口真人

「継続の礎」

後藤泰喜